



我ら岬中

自他を大切に作る心と態度を養い
自己有用感をもてる生徒の育成



- ・人権尊重の視点に立った学校づくり
- ・「誰かの役に立てた」という集団の一員としての自信の獲得

	男	女	合計
1年	42	45	87
2年	57	47	104
3年	59	43	102
合計	158	135	293

地域に学ぶ、地域で学ぶ

新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域と連携した教育活動は大きな制限を受けてきました。しかし、今般の感染者減少の状況をふまえ、可能な範囲で、地域と連携した教育活動を実施していくこととしました。まだまだできることは限られていますが、地域の力をお借りしながら、多様で充実した教育活動を目指していきます。

『働く』って、どういうこと? ~職業講演会~

	稼ぐことよりも 人との触れ合い を大切にしたい M-KAGU 店長 浅野 香澄 様		『トイレできたよ』の一言を聞く時の感動 第一保育所長 海老根 清美 様
	お客様の『幸せ』の瞬間に立ち会えることの幸せ 小林写真館 小林 一友 様		ゼロのところに形あるものを創っていく喜び 處建業代表取締役 處 雅博 様
	技術職に終わりは無い。自分の技能を高めていく楽しさ トータルビューティサロン CHARMANT ネリスト 森川 仁美 様	*【キャリア教育】 一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達(社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程)を促す教育。勤労観・職業観を自ら形成・確立できる子ども・若者の育成を目標とする	

2年生の総合的な学習で取り組んでいるのが「職業について」。キャリア教育*の一環として、社会の中で自分の可能性を伸ばし、自分らしい生き方の実現に向けて必要な力と態度を伸ばしていくことを目的に取り組んでいます。今回は、身近な所で活躍されている様々な職種の5名の方々にお越しいただき、「職業」や「働くこと」についてお話をお伺いしました。どの講師の先生も、生徒の興味を引く工夫をしてお話くださり、「職業」や「働くこと」について考える、大変よい機会となりました。

- ◆2B さん「すごく人のことを考えていて、それでいて仕事を楽んでいるようでいいなと思った。」
- ◆2C さん「子供達の事を色々考えていて、育てた子が元気に過ごしているのが夢だなんてとても素晴らしいと思った。」
- ◆2C さん「お客様の喜びを仕事のやりがいにできるのは、素敵な職業だと思った。そして、たくさん工夫しているところがある分たくさん苦労もあることが分かった。」
- ◆2B さん「将来を考え過ぎず、何事にも挑戦することなど、人生の先輩としてたくさんの経験をされていて自分も大人になるのが楽しみになってきた。」
- ◆2A さん「一人一人ケアの仕方などを変えている代わりに凄さを感じた。綺麗にする為に色々な事を追及する姿勢は職人で、好きなことを仕事にしていることにあこがれを覚えた。」

故郷の川を体験する~夷隅川SUPクルーズ~



- ◆2A さん「皆で初めてやることを、皆で達成することができた。他のことでも協力して達成していきたい。」
- ◆2A さん「皆で協力して、最後まで行けたので、協力する力がついたと思う。」
- ◆2B さん「やる前は楽しくなさそうと思っていたが、体験したら意外と楽しかったので始めから決めつけない方がいいと思った」
- ◆2C さん「自然での体験は常に危険と隣り合わせということを改めて知ることができた。」

10月15日、2年生が校外学習で『夷隅川SUPクルーズ』を実施しました。8月に実施予定でしたが、延期となっていました。当日は、気温も高く無風の絶好のコンディション。爽やかな秋空の下で、楽しいひとときを過ごすことができました。この体験活動をサポートしていただいたのは、桑田を拠点に活動する『いすみパドルクラブ』の皆さん。パドルの使い方、SUPの乗り降り、操作、緊急時対応まで全面サポートで、安全にクルーズを楽しめました。身近なはずの夷隅川ですが、私たちは普段、その存在を気に留めることは殆どありません。

しかし、夷隅川は地域の中で大きな役割を果たすとともに、様々な課題も抱えています。そのことを考えていくためには、まず川に関心をもつことが必要です。また、入学以来、2年生はコロナ禍で様々な活動が制限されてきたため、学年やクラスみんなで協力し、一つのことをやり遂げる体験の機会がほとんどありませんでした。「身近な自然に関心をもつ機会とする」、「協働を通して信頼関係を深める」という2つの目的で取り組んだ今回の体験活動でしたが、地域の資源を活かし、地域の力をお借りして充実したものとすることができました。

『思い込み』に縛られず自由の教室



これはマンボウ。でも、マンボウを正面から見たことある？

1年生の総合的な学習の時間で『自由の教室』が始まりました。ここ数年、一般社団法人『picobirds』代表の磯木淳寛さんのお力をお借りして実施しているものです。

『自由の教室』のコンセプトは、『知っているつもり』や『思い込み』から自分を解放しようです。自分の中の『思い込み』に縛られず、ものごとを多面的多角的に捉えて、自由に発想してみよう。

だから、『自由の教室』です。

これまでも、『房総すごい人図鑑』や短編集『不思議な食べ物』の制作を実現してきました。長者町駅や太東駅のブックステーションも『自由の教室』から生まれたものです。

今年の『自由の教室』から何が生まれてくるのか、今から楽しみです。

読売防犯川柳

最優秀賞に太田さん(3A)!

『第17回読売防犯川柳コンテスト』(全国読売防犯協会、読売新聞社主催)において、3年の太田朱音さんが、チャレンジ部門最優秀賞を獲得しました。また、奨励賞にも3年の佐藤清正さん、内野裕介さん、馬目陽菜子さんの3名が選ばれました。

このコンテストのチャレンジ部門には、全国の小中学生から2901名の応募があり、入賞作品として30点(最優秀賞1点、特別賞2点、優秀賞2点、奨励賞25点)が選ばれ、そのうち4点が本校からの出品となりました。

〔最優秀賞〕 太田朱音さん

「手をとれば もう帰れない 悪魔の手」

〔奨励賞〕

佐藤清正さん

内野裕介さん

馬目陽菜子さん

「駄目なこと いけない物は 魅惑色」

「やめとけよ その一言が 彼を救う」

「手の平の小さな凶器 スマートフォン」

連絡黒板

「草刈りボランティア」(10/30実施) ご協力ありがとうございました!

希望生徒へのタブレットの家庭持ち帰りを実施しています。「活用のルール」について、ご家庭でも十分ご留意ください。

- ◆学校公開について
学年ごとに学校公開を実施します。
- ①期日
・2年 11月16日(火)
・1年 11月17日(水)
・3年 11月19日(金)
- ②時間 8:30~14:40
- ③その他
・各学年6校時に合唱の中間発表会を行います。
・発熱等、体調不良がある場合はご来校をお控えください。

- ◆学校での服装について
- ①コロナ感染症対策のため、登下校を含め、原則としてジャージとしています。ただし、制服着用が望ましいと判断される活動を行う場合は、制服を着用することとします。その際は、事前に連絡します。
- ②冬季も感染対策のため窓を開けて換気しますので防寒対策としての授業中のウィンドブレーカー着用・膝掛け等の使用を認めます。

「修学旅行」の記事は、次号に掲載します。

岬中学校 HP更新中

